

議会だより入善

GIKAI

DAYORI

NYUZEN



9月定例会

平成13年度一般会計補正予算	2
常任委員会レポート	4
平成12年度決算認定	5
一般質問～町政を問う(10議員)	6
町発注工事入札結果表(7月～9月)	17
議長・副議長就任のあいさつ	18
常任委員会編成	19
議会特別委員会、各種団体からひとこと	20

No.119

2001年11月12日
(平成13年)

発行／入善町議会

編集

入善町議会広報編集特別委員会
富山県下新川郡入善町入膳3255
☎0765(72)1100 ㊟0765(72)4711

平成13年度一般会計補正予算 4億3246万円を追加 総額11億3489万円に

漁業振興基金に2億5000万円を積み立て

9月6日から18日まで9月定例議会が開催され、一般会計や特別会計の補正予算や条例制定などが可決された。一般会計は4億3246万円を増額し、総額11億3489万円とした。

**漁業振興基金
積立金
2億5000
万円**

下水道事業の東五十里にある入善浄化センターが完成し、9月4日に通水式を行った。

この浄化センターは、下水道の水をきれいにし海に放流する。

この放流水による方が一の緊急事態に備えるため、新たに2億5000万円を基金に積み立てることとした。

この基金の運用については、今後、町、議会、漁業協同組合で協議をする。

**福祉作業所
改装工事費
500万円**

東部保育所の隣にある福祉作業所が老朽化し、また、トイレや更衣室が手狭になり、不便をかけており、改善を望む声が大きかった。今回、作業所内の床を張り替えたり、更衣室とトイレを増設するなどの改装を行い、働く環境を改善することにした。

また、更に来年度から通所者が増えることが見込まれており、そのことにも対応できるようにする。



改装される福祉作業所

無人ヘリの

導入補助

468万円

無人ヘリコプターは米や大豆の病害虫防除用であり、今回1機購入に対する補助金である。現在7機を保有し、延べ3200haの面積を防除しているが、今後更に増やし、効率的な農業経営を目指していく計画である。

海洋深層水 脱塩装置等

購入費

1230万円

海洋深層水事業は、本県いよいよ取水を開始し、本格的に事業を始めるが、深層水の利用の可能性を広げるため、脱塩装置と電解機能水装置を導入し、脱塩水、濃縮水に、またアルカリ水、



活躍する無人ヘリ

酸性水に分けて分水する。この電解機能水や脱塩水、濃縮水の利用は研究用にも供給する。

なお、海洋深層水の原水を欲しい人は、当分の間20tまで、無料で分水する。詳しいことは、海洋深層水課まで問い合わせてください。

(電話) 72-11100

内線 371

入善町教育委員

山本光代氏(新)の

選任に同意



入善町古林123

9月議会で審議された条例

- ・入善海洋深層水活用施設条例の制定について……………可決
- ・入善町特定公共賃貸住宅条例の制定について……………可決
- ・入善町営住宅管理条例の一部改正について……………可決
- ・入善町税条例の一部改正について……………可決

請願・陳情のゆくえ

- ・土地改良区統合に向けての補助等に
関する請願……………採択
- ・青島用水の改修に関する陳情……………採択

意見書の提出

議員提出議案

- ・米飯学校給食週5回実施を求める意見書……………可決
- ・道路整備促進に関する意見書……………可決

地方自治法第99条の規定により政府関係機関へ意見書を提出した。

常任委員会レポート

総務

情報化時代に
対応することが必要

情報化推進のCATV事業は多額の費用を要する大型事業であり、実施には、賛否の分かれるところである。情報化時代に早急に対応し、町と住民と相互にやりとりする情報・防災・健康などの行政サービスに活用するよう期待する。

なお、2市3町で検討会を立ち上げることであるが、一日も早く結論を出し、検討内容を公開するよう要望する。

防犯灯増設については、事件、事故等の防止に大切な事であり評価したい。なお、公共施設の回りが暗く

て不安があるとの声もあるので、早急に対応されたい。

混住化社会が進んでいる現在、土地改良事業は農業者だけでなく、町民全体の生活環境の向上に大きく寄与している。

今後は町全体の事業として取り組んでいくことが必要である。

教育福祉環境

新しい福祉総合施設の
一日も早い建設を

IT特別講習会が大変好評であり、当初90コース、900人で予定していた講習コースを120コース、1440人に増やす。

町の情報化計画の推進から時宜を得たものである。

国、県のIT推進事業は平成13年度限りの事業ということだが、事業の継続に努力されたい。

福祉作業所の改装工事費

に500万円を計上したことは、時宜にかなった政策と評価するものである。しかも、全町民が共存共栄、社会参加するまちづくりをめざし、精神障害者や身体障害者をまじえた、より充実した施設を視野に入れながら検討していることは、議会としても賛同するものである。新しい福祉総合施設の一日も早い建設を望む

ものである。

学校教育の安全対策として緊急用インターホンを設置する。先の池田小学校での惨劇があまりにも鮮烈であり、学校として、これまで起こった事件・事故を総括し、あらゆることに対応できるような現場のシステムづくりを検討していただきたい。

産業経済

海洋深層水活用の研究を

公共下水道の供用開始に伴い、浄化センターからの処理水放流による不測の事態に備えるため、漁業振興基金として2億5000万円が積み立てられる。

下水道を整備し、海の汚染原因の一つと言われている生活雑排水を減らす施設になぜ基金を積み立てなければならぬか。

① 放流水が原因で漁獲量・水揚げ量が落ちたと言われ、浄化センターが原因でないということを科学的に証明できない。

② 漁民の理解が得られず、

下水道の供用が大幅に遅れた先例がある。

③ 漁民に安心感を与え、町の誠意を表わすものである。以上の理由で、やむを得ないものと判断した。

次に、町の資源として期待されている海洋深層水の活用方法を研究し、基幹産業の農業と結びつけ、農産物の付加価値が高まるよう担当部署の連携を密にして、事業を成功させていきたい。

毎年、深層水取水施設の維持管理費は1500万円程度が予想される。



好評のIT特別講習会

平成12年度決算を認定

9月議会会で決算特別委員会が審査結果を報告

平成12年度の町税の滞納は、町民税・固定資産税合わせて、5年間で405件377.8万円あまりとなっている。これは前年に比べ件数で135件も増加している。これに国民健康保険税を加えると590.8万9000円にも上り、善良な納税者の不公平感を招くことのないように、徴収に一層の努力を期待する。

特に比較的年齢の若い層の滞納が多いということであり、納税のためのPRや納税相談などで納税意識の高揚と収納率の向上に努めていただきたい。

介護保険制度がスタートし、町民待望の二つ目の特別養護老人ホーム「おあしす新川」が完成したことはうれしい。一方、予算化された事業

費が全額不用額になっていくものがある。これは、申請がなかったと言えはそれまでだが、待つ行政から積極的な制度のPRや町民に利用しやすい制度にするなど改善すべき点があると考える。

次に保育のメニューがひろがりゼロ歳児などの3歳未満児保育や延長保育、障害児保育を積極的に進めていることは、少子化対策として有効な政策と高く評価する。

町営バス「のらんマイカー」の運行については、高齢者にはおおむね好評と聞いており、運行日が一日おきになることや目的地までの乗車時間などの問題点が指摘されており、各施設利用者が利用しやすい運行体系の整備が望まれる。

農業関係については、議会でも質問があいついでいる、農業公社の設立や集落営農組合の設立支援など早期の具体策を求める。

就労者の高齢化など農業経営の根幹に関わる問題をかかえており、一刻も猶予がならないと考える。

海洋深層水事業については、蓄養施設が建設された。しかし、残念なことに現在まで一度も活用されていない。取水ができないまま蓄養事業をスタートさせたことになり、計画の甘さを指摘されても仕方がないといえる。また、非水産部門の企業誘致については、供給施設が本年完成し、いよいよ具体化してくるものと考えられる。町の未来を懸けた事業として位置付けた以上失敗は許されない課題と

の認識を持ち、慎重かつ真剣な取り組みを望む。

補助金については、交付団体はそれぞれの歴史や活

動実績をもっている。補助金の交付は一回限りの活動への交付ではなく、その後への団体の活動状況を把握し、

対象事業の継続に努めていただきたい。



「ちろろ」を視察する決算特別委員会



第一期工事が完成した東町町営住宅

ここが聞きたい・・・

町政を問う

10人の議員が登壇

9月議会的一般質問は、11日・12日の2日間にわたり行なわれた。10人が任期最後の質問をした。

主な内容は次のとおりである。

(注) 一般質問は、本人が原稿を書き、原則としてそのまま掲載した。

- 介護保険の保険料・利用料の減免を
- 漁業振興基金・積み立て期は適期か
- 町長の後援団体に、町の請負業者入会は良くない
- 農業公社設立に向けての具体的計画はどうなっているか
- 中高年層の高度な技術を生かす起業家支援センター設立を
- 行政評価システムの導入について
- 市町村合併、現況と今後の取り組みは
- 今の自校直営の学校給食を守るべき
- 結婚相談事業など積極的な機運づくりを
- 「ふれあいいきいきサロン」の増設を

介護保険の保険料・利用料の減免を

九里 郁子 議員

町長

今後、構成市町で基準を定める



サンウェルのいきいきスタジオ

**医療「改革」は
個人負担が2〜3倍に**

問 小泉内閣の医療保険「改革」が通れば国民は病院に行けなくなる。厚生労働省の方針について町長の見解を問う。

日本共産党は以前から、医療保険の問題は高すぎる薬価に原因があり、薬価を欧米なみにすれば1兆5000億円の財源が捻出できるとしてきた。国の審議会が同じような考えを示した。米澤町長 新聞等で報道されている段階であり、町としては反対の立場をとらざるをえない。

**独自の
農業融資制度が必要**

問 農水省が決定した「農業構造改革推進のための経営政策」は農政の対象を40万の大規模農家と法人とし、農業生産の主要を担っている家族経営農家を切り捨てるものである。

町はこの政策をどのような受け止めているか。
町独自の融資制度が必要である。その考えはないか。
町長 収支バランスの欠いた農家は、農地の貸借や集落営農組織への参加を期待している。
融資制度は現状の制度を

活用したい。

問 10月から高齢者の介護保険料が満額徴収となり、負担が倍増するお年寄りから、苦情や問い合わせが新川地域介護保険組合に、わずか一週間で163件もあつた。保険料の満額徴収は低所得者の高齢者から人間らしい生活を奪うものである。介護保険組合が住民の強い願いにより保険条例を改正し、保険料減免について、「特別な事情があること」を追加したが、具体的にどのような場合か。

減免について、高いハードルをかけてはいけない。
町長 今後、構成市町でその基準を定める。

**野中地区の町営バスは
路線変更を検討**

問 高い利用料のため介護サービスを利用しない傾向がある。在宅サービス利用料を3%にすべきである。
町長 今後は組合独自の制度の充実に努め、低所得者のサービス利用料の軽減や、サービス利用の増につなげたいと考えている。

問 入善町で一番高齢化率の高い野中地区は町営バスを利用しにくい。路線変更をする考えはないか。
町長 地元の要望を聞き、関係機関と協議して検討する。

漁業振興基金・積み立て期は適期か

板川清治議員

町長

沿岸漁業者の不安に応える



完成した入善浄化センター

問 漁業振興基金の積み立て時期は適当か。また基金の運用について伺う。
町長 入善浄化センターの排水が、漁業に悪影響を及ぼすのではないかと漁業者

の不安が募り、漁業振興基金を増額して欲しいとの要請を受けていたこと。また、本年5月に入善漁業協同組合が設立されたことを契機として、沿岸漁業の振興策

の財源に充てるため、基金の積み立てを行い、漁業の振興を図ると共に、下水道事業の円滑な推進を図っていく。

基金の運用については、
議会、漁協、有識者による基金運営協議会を設立し基金運用規程をつくり対応する。

問 深層水関連の企業誘致活動を伺う。

町長 本町は企業誘致促進協議会を設立し、中部産業経済局や富山県商工労働部にも参加していただき、情報提供を受けている。

また、6名の企業誘致アドバイザーを委嘱し、情報の提供や指導を受けている。深層水やIT関連企業の訪問に同行していただくなど企業誘致に努めている。

アサヒビール(株)の発泡酒には、海洋深層水が使用されているが、本町の海洋深層水をサンプルとして提供し、事前試験を始めてもらう予定である。

地下水と海洋深層水を使用した飲料水「深海遊夢」を生産している富山化学工業や富山ヒバリッジをはじめ、食品や醸造メーカーなど多くの問い合わせと申し込みがある。

**再任用制度の
取り組みと課題は**

問 公務員の再任用制度の取り組み状況を伺う。

本多総務課長 県内の再任用制度に関する条例は、35市町村中25市町村で制定済みであり、残り10市町村は今年度中に制定を予定している。

本町では、今年度中の条例制定に向け職種や再任用ポスト等について検討中である。

選考方法は職務遂行能力・勤務態度・勤労意欲及び技能資格など過去数年間の職員の勤務評定結果及び勤務実績で判断する。

また、今年度から導入した人事評価制度も選考基準になる。

問 再任用制度の課題は何か。

総務課長 課題はその職種ポスト、勤務時間のほか、再任用職員が職員定数にカウントされるため、退職者を補充する職員の採用をひかえる要素にもなり、職場の活性化に影響があらうと考えられる。

町長の後援団体に

町の請負業者入会は良くない

本多 幸男 議員

町長

特定の業者に便宜を図ったりは一切ない



真剣に聞く傍聴者

問 我々の任期中に、県議会議員選挙の違反事件が発生し、信頼を失墜した。町長の後援会長を務めた陣営から発生した不祥事であり、町長にも道義的責任がある。4年間の任期を終えるに当たり入善町の信頼回復にどのような努力を果たして来たか明らかにされたい。

町長 多数の町議員が辞職するに至ったことは誠に遺憾なことであった。二度とこのようなことが起きないよう、常に自らを律し、清潔で、透明な政治を行うよう、心掛けてきた。

問 新人の町長候補予定者の後援会だよりに「出馬請めろと圧力、露骨な無競争工作」とあり、「入善町を平和な町にすることに協力してもらるのであれば、職業ポストを斡旋する用意がある。このことは米澤町長も了解済みであり、検討してほしい」と書いてあるがこれは事実か。

町長 私は全く関知していません。そう言った事実は絶対にない。私自身、大変迷惑している。

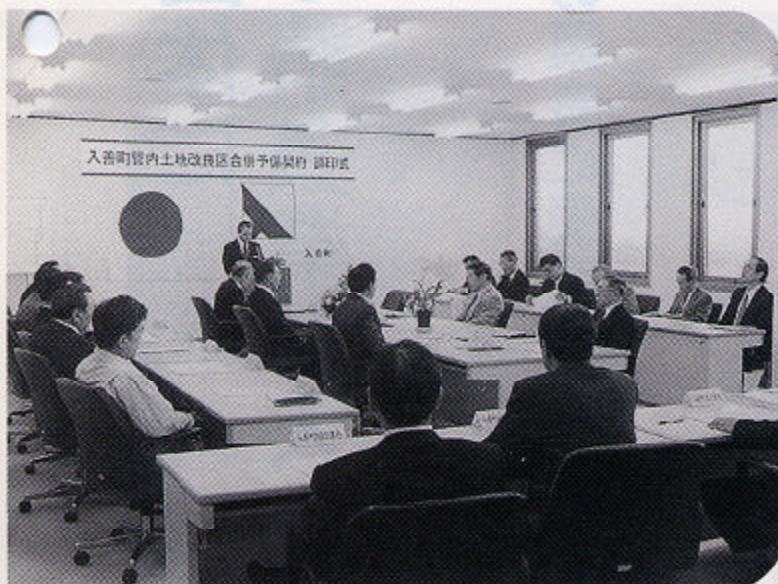
問 町長の最大の公約は「清潔・公正、公平なガラス張りの町政」であるが、後援会の他に「結友会」という後援団体を持つておられるが、この団体に町の請負業者が何社入会しておられるか。また、町長は届出している政治資金管理団体を持つておられるか。

農業公社設立に向けての 具体的計画はどうなっているか

議員 谷口 一 男

町長

設立検討委員会を 9月中に立ち上げる



土地改良区の合併へ

問 今日、今日の農業情勢は非常に厳しい。その中で農業公社の設立を望む声は多く、その重要性はだれもが感じている。

農水省の取りまとめ「農業構造改革推進のための経営政策」を見ると、農業構造改革はすでに始まっている。

当局の公社設立に向けての具体策を聞かせてください。

町長 農業公社の設立は、農業の抱える構造的な問題に対応して、活力と魅力あふれる産業として再生するための有効な手段の一つである。

あると認識している。

本町農業の将来像を見据え、雇用の創出と強固な経営基盤を築くため、公社の具体的な形態については、農地保有合理化法人の設立認可を受けるのか、農業生産法人にするのか、また、どのような業務を行うのか等、農業関係団体や学識経験者などを構成員とする設立検討委員会を9月中に立ち上げ、結論を出したい。

漁業振興基金で

沿岸漁業の振興を図る

問 2億5000万円の漁

業振興基金積立金が補正として提案されているが、その真意はどこにあるのか。公共下水道浄化センター

の供用開始だけによる補償なのか、漁獲量の減少、汚れてきていると言われる海、ダムの排砂による堆砂問題などを考えたとき、単に海だけの事を考えるのではなく、野や山を含むトータル的な考えで、豊かな海、自然を後世に残す政策をとる必要があると考えるがどうか。

町長 いかなる施策であっても、一施策のみでその問題を成就できるものではない。豊かな海を後世に残すためには、山や野との関係が相乗的に機能しなくては解決できない。

漁業者、国、県、町が一体となり、自然環境の浄化策の一環としての植林などの施策も含めた必要な対策を計画的、総合的に実施し、漁業経営の安定、水産物の安定供給に役立てることが大切である。

町では、国、県と連携しながら、漁業資源の回復と漁場の整備を優先的に実施し、安心して漁業に専念できるように沿岸漁業の振興を図っていく。

活性化のためにも 十分協議しPRに努める

問 武村福祉会館での結婚式・披露宴の利用率の増加対策を講ずる考えはないか。年間177組の利用をピークに年々減少し、ここ3年間は年間2組しか利用されていない。一方、結婚の届け出は毎年120組以上出されている。結婚披露宴には多額の費用がかかるが、料理、記念品、美容院、貸衣装、写真など全て町内の事業者を利用してもらう。

当局には、商工会や関係者と連携し幾つかのモデルを作成、PRし町の活性化のために取り組む考えはないか。

金森生涯学習・スポーツ課長 ご指摘のとおり、結婚披露宴については、施設利用という観点ばかりでなく、イベント業、料理、記念品など大変多くの業者が関連してくる。

福祉会館を利用すれば、商店の活性化にも連動する。今後は、商工観光課を通じて商工会などの関係の皆様方と十分協議しながらPRに努めたい。

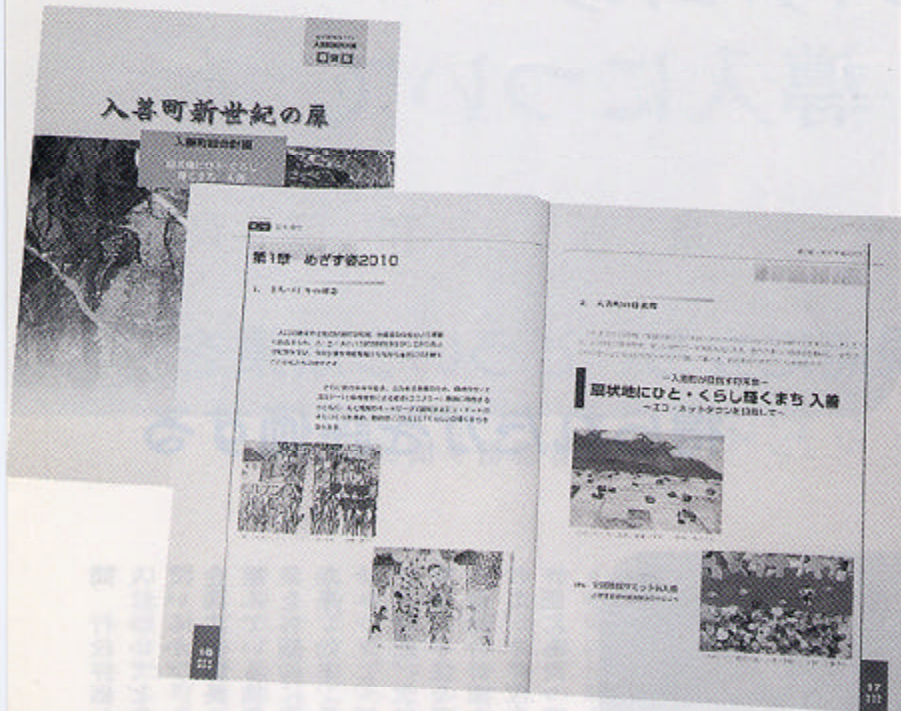
中高年層の高度な技術を

生かす起業家支援センター設立を

町長

中高年層の技術を尊重したい

広瀬 喜代志 議員



まちづくりの指針「総合計画」

問 企業誘致に対する基本姿勢を問う。

町長 これからは、簡単に誘致できない時代であり、頭脳を駆使して町独自の施策を展開する時代に入っている。新たな産業振興策として注目をあびているのが新規起業家の発掘と支援である。特に中高年層の技術を尊重したい。

知的所有権の発掘に町民の英知を

問 今後、知的所有権である特許権、著作権、意匠権を固定的資産として大切にすべきであると思うが。

町長 英知を結集して起業

につなげたい。

NPOの育成に

全力を！

雇用安定化に奇与

問 NPOをいかに育成するか。担当課はどこが行うのか。

大木企画広報課長 NPOの育成については、新総合計画のリーディングプランの中にボランティア、NPOの育成を位置づけている。そして総合計画の「町づくりの将来フレーム」の中でNPOの育成については企画広報課で対応する。

海洋深層水利用の

ウェルネス施設は

PFI方式で

問 PFI方式は今後公共事業に応用されると思うが新総合計画でどの部門で採用が考えられるか。

町長 総合計画上PFIの対象事業は海洋深層水を利用した、ウェルネス施設が考えられる。ウェルネス施設整備は平成15年度より調査に入る予定である。

(注) PFI……

民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して公共施設等を建設したり、維持すること

行政評価システムの導入について

東 狐 和 議 員

町長

住民の視点に立ち、どういう成果を得られたかを評価する



児童センターで陶芸に取り組む

問 行政評価システムの導入についてどのように考えているか。

企画広報課長 行政が取り組んでいる施策や、事務事業を客観的に評価し、その効果、効率、目標達成度をチェックし、評価することが大切だ。欠けていた事業評価の手法を新たに導入し、本年分から試行する。評価にあたっては、住民の

視点に立つ。何を実施したかではなく、どういう成果を得られたかを評価する。

完全学校週5日制に伴う課題解決について

問 週5日制による学力低下の危機はないか。

米島教育長 これまでのような多くの知識を身につけて保持していくのではなく、ゆとりの中で生きる力を育

むことであり、そのために必要な基礎的能力を真の学力と考える。

問 5日制の受け皿について。

中島教育委員長 地域の方々の優れた技術や体験など、ボランティア活動として子供たちに教えていただける方々を募集し「人材バンク」を作成したいと考えている。

女性施策について

問 第6回女性議会について当局の受け止め方はどうか。

町長 これからの入善町を担う子供たちを健やかに育てる手立てや町の活性化をはかるには、など様々な提言があり、どのような形で施策に反映させるか検討したい。

問 「男女共同参画社会宣言都市」の考えはあるか。

町長 平成14年度制定を目的としている「男女共同参画推進条例」とともに「男女共同参画都市」の宣言についても検討したい。

自然環境保全対策について

問 ストップアイドリングの条例化について。

町長 二酸化炭素やフロン排出により地球規模の環境破壊が進み、深刻な現況を呈しているが国立公園など存在しない町として、様子を見守りたい。

問 ISO14001の町の取得状況について

町長 町では去る7月2日、町長を本部長とするプロジェクトチームを立ち上げた。県内外の先進地視察、全国における認証取得自治体の資料集め等、基礎的マニュアルの作成を進め平成14年度末の取得を目指している。

問 町長も徒歩か自転車で登庁を。

町長 私はもちろん職員も自転車あるいは徒歩で出勤可能な人を対象に十分相談しながら進めたい。

問 循環型社会の構築についてどのように考えているか。

町長 一般家庭や学校から出される生ごみの堆肥化は、ごみの減量化と生ごみの再利用につながる研究課題であると考えている。

問 黒部川右岸整備の取り組みについて。

町長 黒部川右岸の整備については、緑の基本計画に基づきながら、整備を進めたいと考えている。

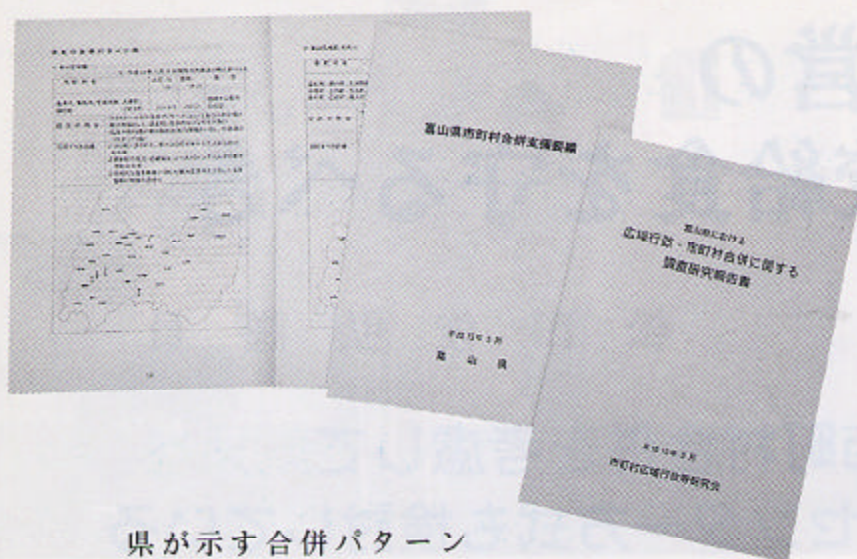
市町村合併、現況と今後の

取り組みは

松沢孝浩議員

町長

方向性を的確につかみ、取り組みたい



県が示す合併パターン

問 富山県市町村合併支援要綱が、まとめられてから6カ月を経過した今、県内における大きな動きはないか。また、新川地区2市3町における、現況と今後の動向や取り組みはどうか。

町長 合併については、町民の皆さん方と十分対話しアンケート等を取りながら方向を的確につかみ、取り組みたい。

木本助役 合併については、町民の皆さん自身に判断していたかどうかというのが町長の基本方針である。

支援要綱では、県下を11のパターンで示している。入善町は、現在の新川広域圏範囲内かどうかというの

が提案である。

6月6日に2市3町の助役と新川広域圏事務組合の事務局長で構成する「新川地域合併研究会」を設置した。同時に研究会の下部組織として2市3町と新川広域圏事務組合の担当課長で構成するワーキンググループも組織した。

9月5日に第2回目を開催し、今後のスケジュールについて検討を行った。合併研究会は、2カ月に1度ワーキンググループは毎月開催する。

その際、研究会の目的は、住民の方々が判断する基準として、メリット・デメリットを明確にし、町民の皆さんに判断して頂くことだと、意見が一致した。

また、メリット・デメリットを示す方法として、数値化できるものと、できないものがあり、どのような基準をつくるかが、今後の課題である。

現在、町民に示す資料づくりの段階である。

県下の現況は、半数ぐらいの地域で合併研究会などの組織づくりを行っている。実際の取り組みが遅れている、と県から聞いている。

また、町民に資料を渡すことについては、十分精査したものでないと、逆に間違った判断になる可能性もある。

法定的申請から告知を受けるまでの期間は

問 合併の際、法定の合併協議会を設置し、申請手続きを行い、総務大臣の告知を受けるには、最低期間がどれくらい必要なのか。

助役 県の担当者の話では逆算して2年半は最低必要とのことである。

今の自校直営の 学校給食を守るべき

松田俊弘議員

町長

将来の市町村合併を考慮して センター方式も検討している



ランチルームでおいしい給食

問 町は、学校給食のセンター化に向けて、退職予定の調理師の補充を臨時職員で補おうとしているが、子供たちの成長と健康のために、今のすぐれた自校直営方式を堅持すべきである。調理師は出来るだけ正職員で対応すべきである。

教育長 町当局と町民の理解が得られる限り、現状でいきたい。

**融資制度の改善で
中小企業支援を**

問 長引く不況の中で中小企業の頼みの綱である小口事業資金融資制度の無担保・無保証人制度の原則が守られていない。即刻改善し、事業者の経営状況に応じて返済期限の延長など柔軟に対応すべきである。

また、町は融資を受けた事業者の保証料や返済利子の一部補給で業者を励ますべきである。

飛田商工観光課長 中小企業支援対策として保証料の助成や利子補給を検討する

と同時に、指摘されたことを県に伝える。

国保税の引き下げを

問 国民健康保険税の滞納者が、3年間で3倍以上にも急増している。今の国の負担率38・5%を元の45%に戻すべきであるが、重すぎる国保税を引き下げる考えはないか。

町は10月から1年以上の滞納者の、保険証を取り上げ、資格証明書を発行する

**入善六区の水路の改修、
横山地区の
側溝設置を急げ**

問 昨今、異常気象と開発があいまって、町部での水害が多く発生しているが、溢れる危険のある水路の改修計画はどのようになっているか。特に床下浸水の被害を受けた入善六区内の青島用水の対策は急務である。

横山地区には道路の側溝がないため、民家の庭に流れこんだ水が凍りつき、車がでられないこともある。対策を急ぐべきである。

浜田建設課長 緊急性が高く、工事可能な箇所から順次進める。六区の青島用水は、優先的に着手する。また横山地区内の側溝のないところは多数ある。今年度は一区で側溝設置を予定している。

結婚相談事業など積極的な機運づくりを

大橋 美椰子 議員

町長

広域圏まで範囲を広げ検討・対応する



安心して遊べる公園に

問 高齢者の数と同じくらい多くの若者がいる調和のとれた町づくりが必要である。このために町と未婚の男女が一体となつて、数々のイベントを開催しながら結婚の機運づくりを図っていただきたい。

町長 町においても未婚率が高まっている。晩婚化が進むことにより、少子化傾向がこれだけ強まってくると、ただ手をこまねいていられるだけではない状況だ。県内でも広域的にこの問題に取り組んでいる例もあるので参考にして対応したい。

町における地域通貨（エコマネー）の利用実験が必要

問 町づくりの活性化に新たな手法として、市民と行政が連携して「エコマネー」を導入し、人と人をつなぐ町づくりの切り札として、人から人へと循環し交流の輪を広げている。町の高齢化社会を守るためにも、更にボランティア精神を育てるためにも、エコマネーの利用実験をやってみるべきではないか。

助役 エコマネーとは何か、ということを一言で言うとは、環境、福祉、教育、文化、コミュニティなど、お金で表せない善意のサービスや紙券などに置き換え、これを通貨として循環させるシステムである。エコマネーは、ボランティアをして助けるだけではなく、自分も

誰かに助けてもらう「助け、助けられる」という関係を生み出す。地域での支え合いや、コミュニティづくりの有効な手段として取り組みが始まっている。町でも研究していきたい。

公園管理の強化

公園の遊具の点検と補修

点検と補修

問 故意に割られている防犯灯、老朽化した遊具、大木の剪定、その後始末、管理人への指導等、早急に点検し管理の強化を願う。
建設課長 公園美化と維持管理を円滑にするため、28カ所の公園に管理員を委嘱、園内の除草や施設の清掃、樹木への水撒き、簡易な樹

木の剪定、遊具や防犯灯などの破損状況の連絡等をお願いしている。除草剤やゴミ袋、消耗品など必要なものを配布し、管理しやすい状況をお願いしている。軽微な破損などは連絡があり次第、即時修繕を実施、大規模修繕の場合、予算の計上後、できるだけ早い時期に修繕している。

「ふれあいいいきいきサロン」 の増設を

長谷友義議員

町長

各地域に拡大するよう

積極的に支援する



童心にかえて紙芝居

問 最近、集落単位で「ふれあいいいきいきサロン」と言う名で、高齢者に地区の公民館等に集まってもらい、保健婦の健康相談、ボランティアのみなさんの腹話術、紙芝居、手品等で好評を得ていると聞いている。しかし、これは町全体でなく限られた地区だけのこと。出来れば集落毎に高齢者が気軽に立ち寄れる「サロン」を定着させることに町が応援すべきと思うが町長の見解を問う。

町長 町では現在、社会福祉協議会が中心となり、高齢者が健康で生きがいを持つて暮らせる地域づくりのため、地区ごとに、公民館など地域住民の集まりやすい場所を対象に、「ふれあいいいきいきサロン」の設置を推進し、在宅のひとり暮らしの高齢者や虚弱高齢者、家に閉じこもりがちな高齢者等を対象に地域住民が主体となって、事業を展開するよう働きかけている。この「ふれあいいいきいきサロン」には、活動が年12回以上で昼食を提供するA型から年6回以上のC型までの3種類があり、A型は年間17万円、B型は8万円、C型は年間2万円の活動助

成金を交付している。現在のこの制度を利用しておられる地域は、入善、野中地区を除く地区で合計21サロンが設置されている。

これらのサロンでは、地区社会福祉協議会の役員、民生委員、婦人会や老人クラブなどの方々が協力して事業を実施している。

また、ある地区では公民館を利用しての身近な場所でのサロンの開催は高齢者に喜ばれていると聞いている。町としても、今後この事業が各地域に拡大するよう積極的に支援していくつもりである。助成額の増加については、社会福祉協議会と検討したいと考えている。

問 高齢者の生きがい対策に対するボランティアへの町職員の参加は。

町長 ご指摘のとおり、この事業にはボランティアの存在は欠かせず、町職員の中にも活動している者がかなりいると言うことは誠に喜ばしい限りである。より多くの職員が今後、いろいろな活動に参加できるように環境づくりが必要であると感している。

7月から
9月まで

町発注工事入札結果表

(工事費 500万円以上)

(単位:千円)

工 事 名	請負金額	予定価格	落札率(%)	入札回数	落 札 業 者	備 考
一 般 工 事						
入善海洋深層水供給施設管理研究施設新築工事 建築主体工事	64,800	68,482	94.6	1	笹島建設㈱	
入善海洋深層水供給施設管理研究施設新築工事 機械設備工事	35,000	42,774	81.8	1	藤田工業㈱	
入善海洋深層水供給施設管理研究施設新築工事 電気設備工事	22,800	25,213	90.4	1	北陸電気工事㈱	
東町町営住宅建替事業第2期C棟新築工事 給排水衛生設備工事	32,400	40,320	80.4	1	㈱吉田工務店	
東町町営住宅建替事業第3期C棟新築工事 電気設備工事	35,800	38,493	93.0	1	大田電気商会	
墓ノ木自然公園園路舗装工事	8,600	8,899	96.6	2	廣川建設工業㈱	随契
墓ノ木自然公園トイレ設置工事	6,940	7,138	97.2	1	㈱橋本工業	
横山長島線外5路線消雪配管工事	12,300	15,104	81.4	1	㈱若島工業	制限価格以下1
入善漁港改修(その3)工事	17,500	18,430	95.0	1	廣川建設工業㈱	
上飯野新小摺戸線舗装工事	12,700	12,801	99.2	1	桜井建設㈱	
平曾川国道線舗装工事	18,500	19,374	95.5	1	廣川建設工業㈱	
旧健康センター解体工事	12,500	13,314	93.9	1	㈱大菅建材	
県単農業農村整備事業 上原地区道路舗装工事	5,950	6,146	96.8	1	桜井建設㈱	
県単農業農村整備事業 東部地区道路舗装工事	5,950	6,146	96.8	1	佐藤道路㈱入善出張所	
県単農業農村整備事業 小摺戸地区道路舗装工事	6,000	6,236	96.2	1	㈱水見土建新川営業所	
横山長島線改良工事	5,560	6,017	92.4	1	㈱草建工	
入善漁港漁場機能高度化(その1)工事	21,500	26,853	80.1	1	㈱飯作組	制限価格以下1
特別養護老人ホームおあしす新川外周道路整備工事	11,500	14,380	80.0	1	㈱高沢組	制限価格以下3
上野運動公園線外2路線舗装工事	6,900	7,113	97.0	1	廣川建設工業㈱	
上飯野新小摺戸線改良工事	12,500	12,772	97.9	1	㈱泉建設	
入善漁港改修(その4)工事	36,400	45,407	80.2	1	㈱飯作組	
本庁出先向光ファイバー接続付帯工事	5,949	5,964	99.7	1	日本電気システム建設㈱	
笹原下飯野線外3路線舗装工事	6,240	6,441	96.9	1	本田建設㈱	
計	404,289	453,817	89.1			
入善町特定環境保全公共下水道事業						
入善西部処理分区第35工区工事	25,600	27,302	93.8	1	㈱宝泉工務店	
入善処理分区第112工区工事	35,800	36,693	97.6	1	㈱飯作組	
入善西部処理分区第38工区工事	31,500	32,649	96.5	1	真岩土建工業㈱	
入善処理分区第118工区工事	21,600	22,617	95.5	1	㈱内島組	
計	114,500	119,261	96.0			
農 業 集 落 排 水 事 業						
小摺戸地区県道黒部朝日公園線外2路線 舗装本復旧工事	9,000	9,554	94.2	1	共和土木㈱	
小摺戸地区県道小摺戸芦崎線外1路線 舗装本復旧工事	9,000	9,515	94.6	1	小川建設工業㈱	
新屋地区管路工事第11工区工事	34,200	34,980	97.8	1	㈱中山組	
新屋地区管路工事第14工区工事	12,800	13,145	97.4	1	稲村組	
新屋地区管路工事第16工区工事	43,000	44,049	97.6	1	㈱杉沢組	
新屋地区管路工事第17工区工事	11,650	11,870	98.1	1	㈱水野建設	
新屋地区管路工事第13工区工事	23,500	24,815	94.7	1	道又建設	
新屋地区管路工事第15工区工事	25,500	27,021	94.4	1	小田建設㈱	
計	168,650	174,949	96.4			
入 善 町 公 共 下 水 道 事 業						
入善処理分区第116工区工事	28,200	29,626	95.2	1	廣川建設工業㈱	
入善処理分区第117工区工事	22,700	23,184	97.9	1	モリタ建設㈱	
入善浄化センター場内整備その6工事	10,700	10,755	99.5	1	廣川建設工業㈱	
入善処理分区第120工区工事	33,800	35,213	96.0	1	高田建設㈱	
計	95,400	98,778	96.6			
合 計	782,839	846,805	92.4			

議長 五十里 隆章 議員
副議長 元 島 正 隆 議員

10月30日、第1回入善町議会臨時会を開催し、議長、副議長の選挙を行った後、3常任委員会委員、議会運営委員会委員、4特別委員会委員の選任、新川広域圏事務組合議会議員、新川地域介護保険組合議会議員の各3名の選挙、監査委員の選任に同意した。

就任のごあいさつ



議長
五十里 隆 章

この度の初議会におきまして、指名推選により議長の要職に就任することになりました。

誠に身にあまる光栄でありますとともに、その責任の重さを痛感する次第でございます。

もとより浅学非才ではありますが、



副議長
元 島 正 隆

この度、議長と同じく指名推選により副議長の要職を担うことになりこの上もない光栄と、感激いたしております。私は議員経験も浅く若輩ものであり、その責務の重大さを痛感し身の引

皆様方のご指導、ご鞭撻をいただき、町当局と共に、豊かなまちづくりに、全力投球で頑張る所存であります。

新世紀を迎えたいま、急激に進む高齢化・少子化社会の対応、行財政改革の取り組み、市町村合併など多くの課題を抱えております。

町民の皆さんと共に考え、共に歩み町発展に努力する所存でありますので、町民皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

き締まる思いを致しております。

幸い、人格識見ともに卓越され、議長経験も豊富な五十里議長の下での補佐役であり、また、町民皆様方のご支援を賜りまして、公平で円滑な議会運営に努めてまいる所存であります。

今後とも、議員各位、町当局、町民皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶にかえさせていただきます。

総務常任委員会
6名



委員長
11番 上野 等
自由民主党 2期



副委員長
7番 大橋美椰子
無所属 2期



委員
2番 中瀬 範幸
無所属 1期



委員
14番 西尾政巳
自由民主党 4期



委員
17番 五十里 隆章
無所属 6期



委員
18番 九里 郁子
日本共産党 7期



委員長
6番 上田 健次
無所属 2期



副委員長
4番 松沢 孝浩
無所属 2期



委員
3番 長田 武志
自由民主党 1期



委員
9番 長谷 友義
自由民主党 2期



委員
12番 東 狐 和
無所属 3期



委員
15番 広瀬 喜代志
無所属 5期

教育福祉環境常任委員会
6名



委員長
10番 谷口 一 男
自由民主党 2期



副委員長
8番 山下 勇
無所属 2期



委員
1番 佐藤 一 仁
自由民主党 1期



委員
5番 松田 俊 弘
日本共産党 2期



委員
13番 元島 正 隆
無所属 3期



委員
16番 本多 幸 男
社会民主党 5期

産業経済常任委員会
6名

議会特別委員会

◇下水道対策特別委員会

委員長 長谷友義
副委員長 長田武志
委員 上田健次
大橋美椰子
山下勇
上野等
九里郁子

委員 谷口一男
東狐和
元島正隆
九里郁子

◇海洋深層水対策特別委員会

委員長 広瀬喜代志
副委員長 山下勇
委員 佐藤一仁
中瀬範幸
松田俊弘
本多幸男

委員 九里郁子

◇新川広域園事務組合議会議員

議員 西尾政巳
本多幸男
五十里隆章

◇新川地域介護保険組合議会議員

議員 松田俊弘
東狐和
五十里隆章

◇監査委員

九里郁子

◇市町村合併調査特別委員会

委員長 西尾政巳
副委員長 松沢孝浩
委員 上田健次

◇議会広報編集特別委員会

委員長 元島正隆
副委員長 松田俊弘
委員 上田健次
大橋美椰子
谷口一男
上野等

◇議会運営委員会

委員長 広瀬喜代志
副委員長 西尾政巳
委員 上田健次
谷口一男
上野等
本多幸男

各種団体からひとこと

あなたの機械好きの集まりから

入善町情報研究会

会長 岡田眞一郎

1987年、通産省(当時)情報機器の裾野を拡げる政策の一つのとり、商工業への導入促進事業としたパソコン講習が開かれました。当時、私たち情報研がその第一期生12名で、入善町商工会の指導員のもと肝入りで結成いたしました。「情報研」と自称しておりますが、その活動内容は情報機器つまりパソコン(以下PC)本体の能力や、その最新機器情報を交換し勉強しています。決して

入善町の世間話や特ダネ情報を研究しているのではないのです。

さて、この会は98シリーズと呼ばれるNEC製が全盛の時代に結成されました。当時は今のような身近な何でもできる魔法の箱になるとは、とても想像できませんでした。私たちはこれまで3台のPCを組立ててきました。最初の挑戦は97年で、それは小さな部品を組立てるのではなく、各用途別の15のプロックを指定の位置に差し込むだけでしたが、1時間を要しました。2年後、10の部品を使い所要時間30分で2号機を組立てました。今年はノートPCに挑戦し、たった5つの部品を5分という時間で完成させました。組立ての時間は短くなる一方で、より複雑にかつ高性能

になることは何にも増して、楽しいものです。

今日、最高のスペックでも、明日になればより高性能機が出現することもあります。予算と性能を検討し、知恵と情報を結集して挑戦するのです。少々マニアックな会ですが、決して「オタク」ではありません。常に新会員には門戸を開いております。会として「入善電脳塾」に入会もいたしております。PCは決して高い所にある葉箱ではありません。今は身近に置き情報を蓄積し、伝授しあう座右の箱になりました。これからはこの小箱が人と人とを結び合せて、省エネ、省人力を生み、行政体の出発点になればと、「電脳塾」にも参加し、新たな研究の一つとして取り組んでまいりたいと考えております。

私たちの門戸は、jyohoken@art.koubou.sop.jpです。例会日は奇数月のPM15時に案内。事務局は入善町商工会 田原指導員までご連絡ください。

編集の窓

◇米同時テロの勃発には全世界が震撼した。尊い人命が無差別に一瞬のうちに犠牲になる。断じて許される事ではない。

◇宇宙の中の小さな星、地球上において、人類同士が憎み合い、殺し合うという現象は世紀が変わっても防止できないものであるか。

◇日本もテロ撲滅に力を入れる事も大切であるが、報復攻撃支持以前に平和外交の実践を各国に示すべきでなからうか。

◇経済も軍備増強もアメリカの政策支持一辺倒では問題解決にほど遠い。



議会広報編集特別委員会

委員長 本多幸男
副委員長 元島正隆
委員 大橋美椰子
委員 谷口一男
委員 板川清治
委員 九里郁子